

高い学力・豊かな感性・たくましい体力をめざして ―本校の取り組み―

北野高校では、高い学力を身につけることができるよう「授業第一」を基本にし、すべての生徒に充実した学習環境を保障しています。また、一人ひとりの夢と志の実現に向けた進路指導や、参加・受講が可能な「大学との連携プログラム」も充実しています。

また、学習面にとどまらず、個性と可能性を大きく伸ばす様々な学校行事や活発な部活動、心のケアに配慮した教育相談の充実は、生徒一人ひとりに充実した学校生活と健やかに成長する環境を約束します。そして、伝統に培われた実績とアカデミックな校風は知・徳・体のバランスのとれた人間形成を実現させます。

これまでの実績は、これら生徒の力を大きく育むノウハウや学習環境があるからこそ実現されているものです。

<高い学力を保障する取り組み>

二学期制 65分授業

前後期制・65分授業の導入により、実授業時数と時間の総量を確保しています。

1限(1コマ)65分授業の実施により、余裕のある授業や演習・実習・実験をふんだんに取り入れた授業が可能となり、授業の効率向上と質の充実が達成されています。

また、3年生の国語・数学・英語で少人数制の授業を実施し、一人ひとりにきめ細やかで配慮の行き届いた授業を行っています。

探究的学習活動の充実

純粋な疑問、知への好奇心を出発点とし、納得するまで追究する。そのような学びから新鮮な発見や知ることへの喜びが生まれ、深い知識と知恵、高い応用力が育まれます。

興味ある分野に関する探究活動に個人やグループで取り組み、じっくり考え、自分たちの考えを効果的に伝えていく。そのような授業が2年生で実施されます(p8参照)。

ハイレベルな授業を目指して

平成23年度から電子黒板を導入。より効率的な授業が行えるようになりました。現在では全ての教室に設置されています。また、生徒による授業評価、教員相互の授業見学を通じて、授業力の向上に取り組んでいます。

自習室の開設

今年度は月～金の始業前(夏時間7:15～8:05)および放課後に自習室(自主学習スペース)を開室しています。

長期休業日の効果的活用

夏季休業期間を短縮し、全学年で通常授業を7月20日まで実施、8月21日から再開します。

また、3年生は12月4日から特別時間割を編成、受験に対応した体制を整えています(平成31年度)。

土曜日の有効活用

生徒たちが希望通りの進路を実現するための学力保障の一つの方法として、本校では土曜日の有効活用に工夫を重ねてきました。平成27年度より希望者対象の講習を廃止し、各学年において年5～7回程度、土曜日の午前に平常授業を実施しています。

充実した学習環境

平成になって改築した新校舎には他校にない充実した施設・設備が備わっており、日常の学習はもちろん、生徒一人ひとりの興味・関心に十分応えられるようになっています。

たとえば、平成 14 年度から文部科学省の指定を受けた SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の取り組みにより、物理・化学・生物・地学の各実験室には本格的な実験設備・機器が完備され、理科の授業や生徒の研究活動に活用されています。また屋上に設置された「六稜天文台」には、高校では日本屈指の口径の望遠鏡が設置され天体観測が可能です。

ほかにも、音響の面で配慮された総木製の壁材を使用した「音楽室」や8万冊近くの蔵書を誇る「図書館」、学校行事や部活動の発表会などで活用されている「多目的ホール」や「六稜会館（同窓会館）」など、学習環境は目を見張るものがあります。

一方、市街地の学校であるにも関わらず体育施設も充実、300mトラックが可能な広大な「グラウンド」や高校でもめずらしい「50mプール」などは、授業や部活動などにおいて生徒のゆとりある活動を保障しています。

<豊かな感性とたくましく生きるための健康と体力を育む取り組み>

文化的活動の充実

芸術科・家庭科の授業時数確保に努めています。文化系の部活動も非常にさかんで、これらの授業や部活動の成果は、「文化芸術祭」で展示・発表され、北野生一人ひとりの熱心な取り組みを見ることができます。

体育系行事の充実

体育大会や水泳大会、断郊競走など、体育の授業の成果が発揮される体育系行事も充実しています。体力とともにたくましい精神力を培うことで、進路希望を実現する力、困難に立ち向かう力も育みます。

多くの学校行事

6月の「六稜祭」、10月の「体育大会」をはじめ、さまざまな学校行事が実施されています。生徒自治会を中心に生徒が主体となって運営する行事も多く、行事を通じてクラスメートなどとの親睦や団結が深まります（p10,11参照）。

さかんな部活動

およそ60～65%の生徒が運動部に、30～35%が文化部に加入して活動を行っています。現在、運動部20、文化部19、同好会2が活動中です。（p17～19参照）。

<高い志を育み、進路実現をめざす取り組み>

高大連携

府内で先がけて大阪大学との本格的な高大連携を始めました。その成果は府教委と府内の大学との連携協定につながっています。また、本校へ大学の先生方をお招きして講演をしていただく「知的世界への冒険」を毎年開催しています。春休みに大阪大学病院の手術室を見学するプログラムも実施。

この他、さまざまな機会を通して大学に向いたり、大学の先生方のお話を聞く経験により、自らの進路をじっくり見定めていくことができます（p12参照）。

卒業生によるガイダンス

各界で活躍する本校の卒業生も、現役の北野生にとって憧れの存在であり、生徒の夢や志に大きな影響を与えます。本校ではさまざまな分野で活躍する卒業生を招き、1、2年生対象のガイダンスを毎年実施しています。

1年生では、生徒の興味・関心が高い職業について、仕事の内容やその職業をめざすための心構えなどをお話しいたできます。

大学・学部を決定していく2年生では、大学院生などをお招きして研究内容や学生生活などのお話をうかがいます（p12参照）。